



社会と当社グループの持続可能な発展に向けて

三井化学株式会社 代表取締役副社長執行役員（CFO） 久保 雅晴

このたびは、化学・繊維部門においてディスクロージャー優良企業に選定いただき、誠にありがとうございます。

3年連続3回目の受賞となりましたが、ひとえに関係者の皆さまのご支援とご理解によるものと、この場をお借りして改めて感謝申し上げます。

当社グループは、総合化学メーカーとして、常に時代のニーズに対して革新的な技術と製品でソリューションを提供してきました。自動車材料を中心とした「モビリティ」、メガネレンズ用材料、高機能不織布等の「ヘルスケア」、包装材料や農薬等の「フード&パッケージング」といったターゲット領域と、産業や社会を支える「基盤素材」領域において、グローバルに事業展開を行っています。また、2017年度にスタートした長期経営計画「VISION25」より、ターゲット領域の境界・外縁領域のソリューション事業を創出する「次世代事業」を加え、5つの事業領域において、「新たな顧客価値の創造」をコンセプトに持続可能な成長・発展を目指しています。

IR活動においては、公平で適時適切な情報発信を基本姿勢に、社長やCFOなどの経営トップをはじめ、当社グループ各部門が一体となり、株主・投資家・アナリストの皆さまとの対話を重視し、その機会の充実に努めています。これらの対話を通じて、当社グループの経営戦略や経営計画へのご理解を深めていただくとともに、皆さまの声を真摯に受け止め、資本提供者の視点からの経営分析や意見を聴取、次の対話に反映させることで、当社グループの中長期的な企業価値向上につなげて

います。

経営トップによる対話として、機関投資家・アナリスト向けの経営概況説明会やスモールミーティング、国内・海外の投資家訪問、IRカンファレンス等に経営陣が積極的に参加し、皆さまの関心が高い事柄に対して、経営トップ自らが説明し、直接ご質問に応えることを重視しています。

また、経営陣やIR部門のみならず、事業戦略説明会や国内・海外の工場見学会の充実も図り、当社事業・製品の優位性や今後の成長性についてご理解いただく機会を設けています。事業のキーマンや現場担当者が具体的な取り組みを紹介し、よりリアルに対話していただけるイベントとして大変ご好評をいただいております。

これらに加え、株主・投資家・アナリストの皆さまとの対話を補足するため、IR資料やIRサイト等のIRツールの充実に努めています。IRツールのひとつとして、統合報告書「三井化学レポート」を発行し、当社グループへ理解を深めていただくとともに、“質の高い対話”のプラットフォームとなる分かりやすい報告を目指し、改善に努めています。

今後も株主・投資家・アナリストの皆さま、当社グループを取り巻く様々なステークホルダーとの信頼関係を維持・発展させるため、公正で透明性の高い情報を適時適切に開示するとともに、引き続き経営トップをはじめ、グループ全体での積極的なコミュニケーション活動に努めてまいります。ご支援賜りたくよろしくお願い申し上げます。